

■ 防災展示コーナー（12:30～16:00）

企業等名	展示内容
1 生活協同組合コープこうべ	災害時に役立つポリ袋調理（パッキング）の紹介
2 江崎グリコ株式会社	液体ミルク等非常食の展示と試食
3 コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	災害対応自販機の展示
4 ネットトヨタ神戸株式会社	非常電源としてのPHVの展示
5 関西化工株式会社	浸水シャッター設置体験等
6 株式会社ビュード 京都営業所	貼るだけで耐震ドア「アケルくん」体験
7 株式会社 GEOソリューションズ	ドローンの紹介・訓練状況の展示
8 NPO法人 兵庫県防災士会	家庭内での備蓄・女性の為の避難用品・非常持出袋
9 西宮市民共済生活協同組合	感震ブレーカー他防災用品等の展示
10 さくらFM株式会社	緊急告知ラジオ展示
11 西日本電信電話株式会社 兵庫支店	災害伝言ダイヤル171の利用体験
12 大阪ガス株式会社	PEパイプ、各種地震に対する取組み
13 兵庫医科大学病院 DMAT	DMAT車両展示
兵庫県立西宮病院 DMAT	DMAT活動に関する展示
14 日本ライフライン株式会社	AED展示 応急手当普及
15 国立研究開発法人 防災科学技術研究所	室内被害映像のVR体験他
16 国土交通省 六甲砂防事務所	土石流模型実験装置の実演とパネル展示
17 海上自衛隊 阪神基地隊	パネル展示 ロープワーク
18 兵庫県 阪神南県民センター	兵庫県住宅再建共済制度の案内
19 森永乳業株式会社	災害時における栄養補給の提案（展示と試食）

■ 訓練参加機関（順不同）

海上自衛隊阪神基地隊／陸上自衛隊第3師団第36普通科連隊／神戸海上保安部 西宮海上保安署／西宮市消防団 西宮警察署／甲子園警察署／にしのみや環境サポート協同組合／用海地区団体協議会防災会／鳴尾東連合防災会 浜脇地区自治連合会／アコーディア・ガーデン甲子園浜／西宮市立今津体育館／ホームセンターコーナン西宮今津店 株式会社ウィルコム／ネットトヨタ神戸株式会社／特定非営利活動法人兵庫県防災士会／第一環境株式会社 西宮市消防協力隊（伊藤ハム株式会社、JFEスチール株式会社、社会医療法人渡邊高記念会西宮渡辺病院） 5日で5000枚の約束。プロジェクト実行委員会／赤帽兵庫県軽自動車運送協同組合／西宮手話サークル連絡会 特定非営利活動法人西宮介護タクシー協会／さくらFM株式会社／一般社団法人兵庫県LPガス協会阪神支部 コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社／生活協同組合コープこうべ／認定特定非営利活動法人日本レスキュー協会 公益財団法人西宮市国際交流協会／阪神バス株式会社／西日本電信電話株式会社 兵庫支店／大阪ガス株式会社 関西電力株式会社／西宮市聴力言語障害者協会ろうあ部会／一般社団法人西宮市医師会／県立西宮今津高等学校 兵庫県教育委員会震災・学校支援チーム（EARTH）／阪神南県民センター／西宮市医師会看護専門学校 兵庫医科大学病院 DMAT／兵庫県立西宮病院 DMAT／一般社団法人西宮市薬剤師会／尾西食品株式会社 一般社団法人西宮建設協会／一般社団法人兵庫県トラック協会／株式会社GEOソリューションズ／関西学院大学 一般社団法人日本マリーナ・ビーチ協会／兵庫県ドクターヘリ（社会医療法人製鉄記念広畑病院） 兵庫県消防防災航空隊／西宮市

南海トラフ地震を想定した

# 令和元年度 西宮市総合防災訓練

午前の部：津波一斉避難訓練（県下一斉）

午後の部：総合防災訓練（実動訓練）

■ 目的

○午前の部  
津波想定区域内における避難に特化した訓練を実施し、市民の防災意識の更なる高揚を図り、地域防災力の向上に資する。

○午後の部  
市職員個人及び組織での訓練成果の確認の場として、大規模な実動訓練を実施し、他局及び防災関係機関との連携の確認と強化を図る。

■ 訓練想定

○午前10時00分に南海トラフ地震（M9.0）発生 震度6弱 大津波警報発表  
○地震と津波により、各所で家屋倒壊や火災が多発、負傷者・避難者が続出し被害が拡大中、また、土砂災害や道路の通行障害、ライフライン等に相当の被害が発生

■ 訓練概要

○午前の部 シェイクアウト訓練（全市域）、避難方法の確認（津波浸水想定区域内）、津波避難訓練（津波浸水想定区域内の学校園、事業所等）  
○午後の部 人命救助、避難所運営、道路啓開、応急給水、トリアージ、広域ヘリ搬送、海上輸送、津波避難ビルからヘリ救助、地震火災消火訓練等

■ 実施日時

令和元年11月5日（火）  
○午前の部 10:00～11:00  
○午後の部 13:30～16:00 ※気象状況により訓練を中止、内容を変更する場合があります。

■ 実施場所

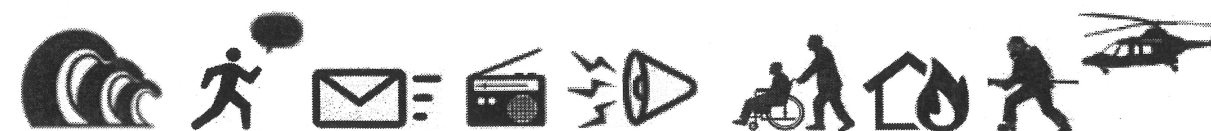
○午前の部 全市域及び津波浸水想定区域内（概ね鳴尾御影線以南）  
○午後の部 主会場 阪神南広域防災拠点（甲子園浜3丁目）

■ 参加人数

（午後の部）  
約1,200人（市200人、関係機関及び市民1,000人）

■ 訓練のポイント

- 地震津波災害からいのちを守る  
（地震津波からの避難方法を学び、自ら考え、行動する意識をもつ）
- 災害への対応力の強化  
（各災対局や関係機関、住民団体が日頃の訓練成果を確認し、互いに連携強化を図る）



■プログラム

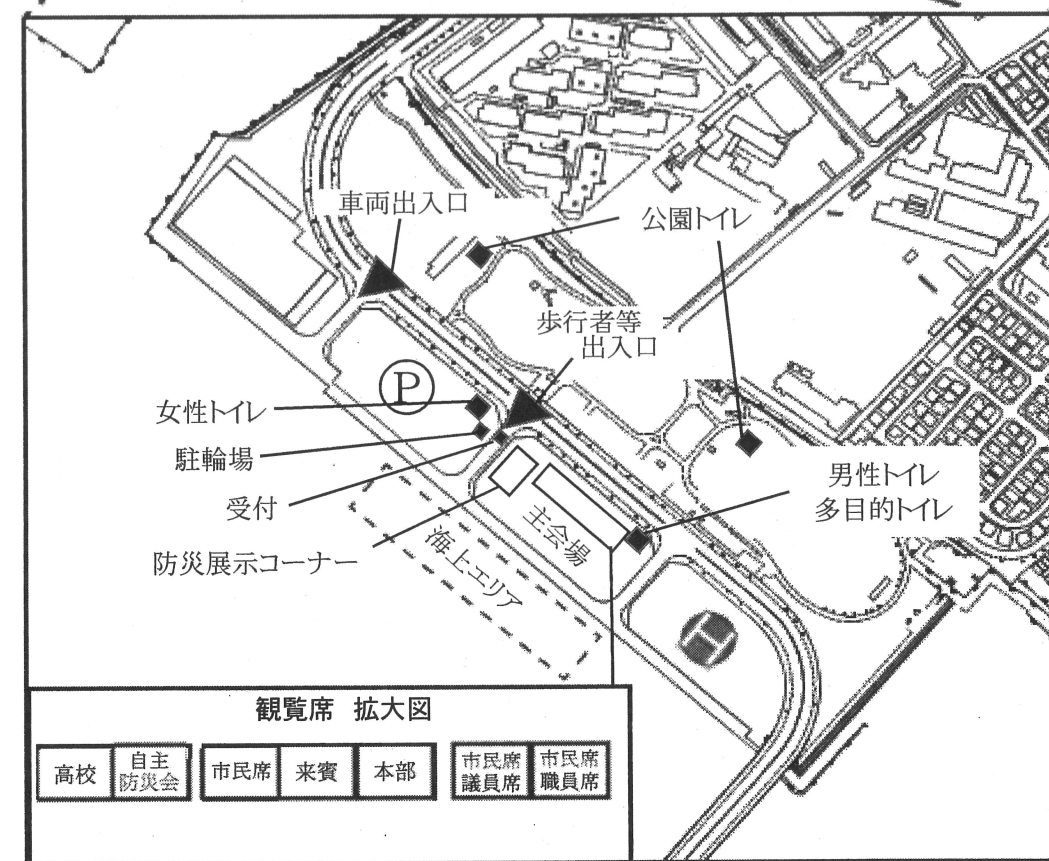
南海トラフ地震津波一斉避難訓練

市民参加	訓練番号・項目	開始/終了時間	実施場所	訓練概要	主な市災対局名	実施関係機関等
○	1 地震・津波対応訓練	10:00～11:00	市内全域	シェイクアウト訓練、避難方法の確認、津波避難訓練	全災対局	市民、学校、企業
	2 津波広報情報伝達訓練	10:00～11:00	津波浸水想定区域	広報車巡回	消防公安局	消防団
	3 防潮門扉閉鎖訓練	10:00～11:00	西波止町No22	防潮門扉閉鎖	第二技術局	

西宮市総合防災訓練

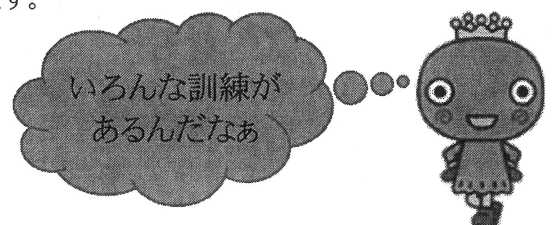
○	避難訓練	13:00～13:30	各地から	避難要領の確認	統制局	西宮今津高校、自主防災会 阪神バス、ネットヨタ神戸
○	訓練進行・案内表示補助	13:20～15:55	避難所B、観覧席	西宮今津高校による訓練進行・案内表示の補助	統制局	西宮今津高校
	開会式	13:30～13:35				
	①指揮統制訓練	13:35～15:55	指揮所	指揮統制要領の確認	統制局	
	②緊急放送・多言語放送訓練	13:35～15:55	指揮所	災害時の緊急放送・多言語放送要領の確認	政策局	さくらFM、国際交流協会
	③津波避難広報訓練	13:36～13:40	陸上エリア1	津波避難指示の広報要領の確認	消防公安局	消防団
○	④現地パトロール訓練	13:37～15:00	浜脇小学校体育館 土砂災害警戒区域	○避難所の安全確認 ○土砂災害警戒区域等パトロール	避難局 第一、第二技術局	自主防災会
○	⑤避難誘導・災害時要援護者 避難支援訓練	13:38～13:42	陸上エリア1	地域住民が協力して避難所に向かう要領の確認	統制局	西宮今津高校、自主防災会 警察、防災士会
○	⑥避難所運営訓練	13:42～15:55	A区域、避難所B	避難所運営に関する様々な課題について議論し、方向性を導き出す。	避難局	西宮今津高校、自主防災会 EARTH、国際交流協会 防災士会
○	⑦人命救助訓練	13:45～14:05	陸上エリア1	○倒壊した家屋等からの要救助者救出要領を習得 ○負傷者搬送要領を習得 ○他機関との連携要領の確認	総務局、市民局、会計局 給水技術局、議会担当局 消防公安局	消防団、機能別消防団、自主防災会、西宮今津高校 防災士会、医師会看護専門学校、陸上自衛隊、警察 消防協力隊、災害時応援協定事業者、近隣事業所
○	⑧トリアージ訓練	13:45～15:00	E区域	病院へ搬送された負傷者のトリアージ要領の確認	病院局、総務局	西宮今津高校、医師会看護専門学校
	⑨情報収集訓練 津波避難ビル救出訓練	13:55～14:10	陸上エリア3 ヘリポート	○兵庫県消防ヘリから送信される市内の空中映像を受信し、情報収集要領の確認 ○津波避難ビルからヘリコプターにより救出	消防公安局	兵庫県消防防災航空隊
	⑩多言語支援センター設置運営訓練	14:00～15:55	B区域	被災した外国人の通訳等支援要領の確認	政策局	国際交流協会
○	⑪救援物資受入・分配訓練 燃料供給訓練	14:00～15:30	A区域、避難所A	○避難者による救援物資分配要領の確認 ○さまざまな非常食の試食や非常食(アルファ化米)の調理体験	統制局	西宮今津高校、関西学院大学、自主防災会 ろうあ部会、手話サークル、コープこうべ、コカ・コーラ 尾西食品、ネットヨタ、LPG協会
○	⑫避難者移送訓練	14:05～14:15	A区域	避難者多数により、収容可能な別の避難所へ、応援協定事業者と連携し移送する要領を確認	統制局	西宮今津高校、自主防災会、ろうあ部会 手話サークル、阪神バス
○	⑬物資受入・搬送訓練 海上輸送・受入訓練①	14:06～14:25	陸上エリア2、海域 E区域、A区域	○救援物資を受入れ、配送先の指示要領を確認 ○海上輸送する救援物資の受入要領を確認	物資局	西宮今津高校、5日で5000枚の約束、海上自衛隊 県民センター、兵庫県トラック協会、赤帽
○	⑭病院への緊急給水訓練 避難所・福祉避難所への応急給水訓練	14:07～14:30	A区域、C区域 E区域、別会場	○断水した病院への緊急給水要領の確認 ○他機関と合同で避難所・福祉避難所への 応急給水活動要領を確認	給水技術局、病院局 こども支援局	第一環境、自主防災会、ネットヨタ、ろうあ部会 手話サークル、西宮今津高校
	⑮道路啓開・橋台段差処理訓練	14:15～15:05	D区域	橋台の段差修復、道路上の倒木等の撤去	第一技術局、第二技術局	西宮建設協会
○	⑯救護所開設・運営訓練 病院への移送訓練	14:15～15:15	B区域	○救護所開設・運営等を確認 ○福祉避難所や病院等への移送要領の確認	保健医療局、病院局	医師会、薬剤師会、自主防災会、医師会看護専門学校 西宮今津高校、国際交流協会、西宮介護タクシー協会
○	⑰避難所巡回訓練(健康調査)	14:20～14:50	A区域、避難所A	保健師による健康調査手順の検証	保健医療局	自主防災会、西宮今津高校、医師会看護専門学校 国際交流協会
	⑱多重衝突による多数傷病者対応訓練	14:25～15:05	陸上エリア1	多重衝突で、多数傷病者が発生した際の活動要領の確認	消防公安局	兵庫DMAT、兵庫県ドクターヘリ、ろうあ部会 医師会看護専門学校、阪神バス
	⑲福祉避難所等開設・運営訓練 福祉避難所(こども未来センター) での応急給水訓練	13:30～15:30 14:30～16:30	第2シルバー コースト甲子園 こども未来センター	福祉避難所開設・運営の手順等を確認 福祉避難所での応急給水要領の確認	福祉局 こども支援局、給水技術局	第2シルバーコースト甲子園
○	⑳ダンボールベッド等作成訓練	14:40～15:10 15:20～15:50	A区域、避難所A	避難所生活に必要な物品の取扱い方法を確認	統制局	防災士会、自主防災会、西宮今津高校、ろうあ部会 手話サークル、ネットヨタ
○	㉑災害用トイレ設置訓練	14:50～15:20	A区域	災害用トイレの設置・運用等一連の流れを確認	衛生局	関西学院大学、自主防災会、ネットヨタ
	㉒ドローンを活用した情報収集訓練 海上救出訓練	15:00～15:10	海域	○ドローンを活用した被災地の調査要領の確認 ○海域に流された人の救助要領の確認	統制局	GEOソリューションズ、海上保安庁、警察 西宮渡辺病院
○	㉓土のう作成・設置訓練	15:00～15:20	C区域	土のうの作成・設置要領の確認	政策局、市民局 議会担当局、会計局	機能別消防団、西宮今津高校、近隣事業所 兵庫県トラック協会
	㉔ライフライン復旧訓練	15:10～15:30	C区域、D区域	ライフラインの復旧活動要領の確認	統制局	関西電力、大阪ガス、NTT
○	㉕海上輸送・受入訓練②	15:10～15:25	海域、A区域 避難所A	民間の船舶(災害時応援協定事業者)が輸送してきた物資の受入要領の確認	統制局	日本マリナー・ビーチ協会、関西学院大学 西宮今津高校、陸上自衛隊、ネットヨタ
	㉖災害廃棄物収集(瓦礫撤去)訓練	15:25～15:30	C区域	災害瓦礫回収要領の確認	衛生局	にしのみや環境サポート協同組合
○	㉗地震初期消火訓練 地域連携消火訓練	15:30～15:45	陸上エリア1	地域が連携した初期消火要領の確認	統制局	機能別消防団、西宮今津高校、自主防災会 消防協力隊、近隣事業所、災害時応援協定事業者
	㉘地震火災消火訓練	15:37～15:45	陸上エリア1	消火栓使用不能な状況下での消火活動	消防公安局	海上保安庁、消防団
	閉会式	15:55～16:00				

■訓練会場



■交通アクセス

～バスをご利用の方～  
阪神甲子園駅で阪神バス④番乗り場から「浜甲子園行」に乗車、「南甲子園小学校前」または「甲子園浜3丁目」で下車(南へ徒歩約15分)  
～車をご利用の方～  
会場内に、駐車場を設けております。



## 令和元年度 西宮市総合防災訓練 実施状況

### 開会式



### ⑤避難誘導・要援護者避難支援訓練

被災地において、地域住民が自助・共助により、災害時要援護者の避難の誘導や支援を迅速且つ安全に実施できるかを確認しました。



### ⑥避難所運営訓練

避難所運営に関する様々な課題について各団体・各専門機関が集まり意見交換を行いました。地元の高校生なども積極的に発言しており、地域一体となった避難所運営を行っていくためのマニュアル作りをする上で、非常に有意義なものとなりました。





### ⑦人命救助訓練

地震で発生した倒壊家屋により、負傷者が閉じ込められているとの想定で実施しました。この訓練では、市の人命救助隊、消防団、自主防災会、近隣事業所（ウィルコム、ホームセンターコーナン、今津体育館、アコーディアガーデン甲子園浜、兵庫県トラック協会）、防災士会、日本レスキュー協会、日本マリーナ・ビーチ協会、消防協力隊（西宮渡辺病院）、警察、陸上自衛隊の連携により人命救助と搬送を迅速かつ安全に実施できるかを確認しました。



### ⑨情報収集訓練・津波避難ビル救出訓練

南海トラフ地震により津波が発生し、津波避難ビルに避難したが、そのまま取り残されてしまった要救助者を西宮市消防局と兵庫県消防防災航空隊が連携し、ヘリによる救助を行いました。



### ⑩多言語支援センター設置運営訓練

国際交流協会の協力により、災害時における外国人被災者に対する通訳や多言語情報の提供など、多言語支援活動の確認を行いました。





### ⑪ 救援物資受入・分配訓練・燃料供給訓練

避難者役の県立西宮今津高校生が主体となり、地域の自主防災会や各企業の方々などの協力により、自主的な救援物資の受け入れ・配給要領の確認を行いました。

食料については、尾西食品、コープこうべからそれぞれ非常食や菓子パンの提供を受け、水についてはコカ・コーラから提供をいただきました。

また、非常食の調理に利用する燃料は、兵庫県LPガス協会から供給を受けました。



### ⑫ 避難者移送訓練

この訓練では、避難所がいっぱいとなり、企業（阪神バス）の協力を得て、別の避難所へ移送を行うという場合を想定したものです。

避難者役には、聴力障害者（聴力言語障害者協会ろうあ部会）や車イスの方がおり、その場合の対応なども学びました。



### ⑬ 物資受入・搬送訓練／海上輸送・受入訓練

海路からは海上自衛隊、陸路からは災害時応援協定事業者の「5日で5000枚の約束。」がそれぞれ運んでくる救援物資を災害時応援協定事業者の赤帽・兵庫県トラック協会や県（阪南県民センター）、市職員などが連携して、物資集積所や避難所に搬送を行いました。



#### ⑭応急給水訓練

断水状態となった避難所や透析医療機関等への給水活動を第一環境設備と協力して行うための要領を確認しました。

また、避難者役の高校生なども給水の体験を行いました。



#### ⑮道路啓開・橋台段差処理訓練

この訓練は、地震の揺れにより沿道の家屋が倒壊し道路を塞いでいる、また、道路と橋との間に大きな段差が生じてしまったとの想定で実施し、市の職員が西宮建設協会と連携して、撤去作業等の手順の確認を行いました。



#### ⑯多重衝突対応訓練

地震による高速道路上での多重衝突事故を想定し、市消防局、DMAT、ドクターヘリが連携して救助活動の要領を確認しました。

看護学生などが負傷者役を行い、プロによる救助活動を実際に体験することが出来ました。



⑳ダンボールベッド等作成訓練

防災士会の指導により、自主防災会や高校生、また、当日参加した地域の方々なども一緒に福祉避難所などで使用するダンボールベッドの作成方法を学びました。



㉑災害用トイレ設置訓練

市職員の指導により、自主防災会や関西学院大学の学生、また、当日参加した地域の方々なども一緒に災害用トイレの作成方法を学びました。



㉒海上救出訓練

津波等により、海に取り残された要救助者を、GEOソリューションズの協力によりドローンを飛ばして捜索を行い、海上保安庁や警察、消防協力隊（西宮渡辺病院）が連携して救助・搬送しました。





### ⑳土のう作成・設置訓練

消防団の指導により、市職員、近隣事業所などが協力して、土のうの作成を行いました。迅速・安全かつ正しい土のうの作成・設置方法を学ぶことが出来ました。



### ㉑ライフライン復旧訓練

NTT、大阪ガス、関西電力がそれぞれライフラインの復旧要領の確認を行いました。



### ㉒災害廃棄物収集訓練

市職員とにしのみや環境サポート協同組合が連携し、災害で発生したガレキ等の廃棄物をプレス車にて破砕・収集する手順の確認を行いました。



## ②⑦地震初期消火訓練及び地域連携消火訓練

この訓練は、地域から自主防災会、県立西宮今津高校、近隣事業所としてウィルコム、今津体育館、兵庫県トラック協会、西宮市消防協力隊として、伊藤ハムやJFEスチール、そして消火器等の指導役として消防団が参加しました。

地震により多発火災が発生したとの想定で、それぞれにある職場や学校、地域にある消火器や屋内消火栓、可搬式消防ポンプを活用して消火活動を行いました。たとえ災害多数で消防車の到着が遅れても「自分たちの町は自分で守る」という精神で、終始真剣に取り組んでいました。



## ②⑧地震火災消火訓練

地震により消火栓が使用不能となることを想定し、市消防局・消防団が連携して長距離におけるホース延長要領及び自然水利からの吸水要領を確認しました。また、海上保安庁の巡視船からの中継要領も併せて確認しました。



## 閉会式



## 防災展示コーナー

各企業・団体等により19ヵ所の展示ブースを開きました。

コープこうべでは、災害時に役立つポリ袋調理（パックスッキング）の提案を行っていました。また、ネットヨタ神戸では、プリウス（PHV車）による非常用電源を使用し、ポットでお湯を沸かし、お茶の提供を行っていました。

